



# しばた議会だより



(柴田町民体育館)

## 門出を祝う太鼓のひびき

■12月定例会・もみのき園、運営を民間に	2
・12月補正予算を可決	3
・9人の議員が一般質問	4
■取り組み中の議会改革	10
■常任委員会の調査と町への提言	11
■あなたの一言（畑井 馨さん）	12

# 運営を民間に

## 営をめざして

12月定例会は、12月5日(金)から12日(金)までの8日間の会期で開かれました。

この定例会では、33件の議案が提出されました。条例の制定・改廃が21件、補正予算関係など12件ありましたが、町長から4件の議案が撤回され、この4件を除く議案を審議し、原案のとおり可決しました。

一般質問は9人で、22項目の質問がありました。

12月議会審議における  
質疑の一部を紹介します。

### 柴田町地区集会所 条例を改正

**問** 柴田町には歴史ある地名がいくつかあるのに、1区・2区と多くの集会所が数字で呼ばれている。歴史的な地名に戻すべきではないか。

**答** 今、上川名構造改善センターを含めて42の集会所があるが、行政区名を冠した集会所と地区名称「中曽根」「土手内」などが半々程度になっている。

名称についても今後、行政区長と協議しながら取り組んでいく。

### 臨時的に任用された職員 の分限に関する条例制定

**問** 「任用の際心身の故障のため、職務の遂行に支障があり、又はこれに堪えない場合」とありませんが、例えば心身の不調を来す原因を抱えている場合、どう考えているのか。

**答** 勤務された後、何かの原因で障害なり心の病が発生した場合、職場に原因があるとするれば、それなりの補償をする。

**問** 定数の改廃又は予算の減少により過員を生じた場合、雇用の調整を図るのか。

**答** 臨時職員は、6カ月間の雇用契約の形になる。

6カ月を過ぎると更新して、1年間の雇用が確保される。町は当初予算などで満額予算化するので、その方にやめていただくということはありません。

### 柴田町地域活動支援 センター条例を改正 (もみのき園関連)

**問** 地域活動支援センター設立の経緯は。

**答** 障害者自立支援法により、役場庁舎敷地の一角に21年1月から新しい地域活動支援センターしらすぎが開所する。また、「もみのき園」の施設も支援センターに加わることとなった。

**問** 4月から「もみのき園」を臥牛三敬会に委託することによって、利用する方はどう変わるのか。

**答** 臥牛三敬会は数十年かけた社会活動等のノウハウを持っていて、管理が変わっても、影響はない。

担当職員は、再任用の形で採用する方向です。

### 撤回された議案

次の4件は、改めて精査することとなり、撤回されました。

- 一、柴田町交通指導隊条例の一部を改正する条例
- 二、柴田町防犯実動隊条例の一部を改正する条例
- 三、柴田町非常勤消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例
- 四、権利の放棄について  
(観光協会の解散に伴う貸付金の権利の放棄)



民間に委託される「もみのき園」

# もみのき園、 安定的な運

## 柴田町心身障害児 通園施設条例を改正 (むつみ学園関連)

**問** 今回、「児童の療育に資するため」という文言が「日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適用訓練等を行うため」となっているが、児童の日常生活は変わることか。

**答** これまでむつみ学園が児童に対して指導してきた内容と大きく変わりはありません。

**問** 条例の見出しの「対象児童」が「対象者」に変わり、条文中に「保護者」が入ったのはなぜか。

**答** これまでも保護者とともに児童が通園していたものを、明確にしたものである。

## 権利の放棄について (観光協会の解散に伴う貸付金の権利の放棄)

**問** 「観光協会の解散に伴う貸付金1千100万円を

放棄」と言われても、その受け皿を明確にしなければ賛否はできない。

長年「樅の木は残った」に乗っかって、情性で観光事業をやってきた。その延長上にこの1千100万円があるような気がする。観光資源というのは人がつくっていくもので、それには政策がなくてはならないと思うが。

**答** 観光行政について、きちっとした方針を打ち出した中で第三者に委託していくということが少し欠けていた面があったと思う。

新しい観光行政については、観光の創造という考えで、柴田町に観光客を呼んで、お金を落とし、もらうようにしたい。

ただ、何もやっていないわけではなく、少しずつ花を植えたり景観をよくしたり、駐車料金を取るような観光ツアーを呼んだりしていますが、体系的にはまだ十分でないと思っているので、今後は体系的な政策展開をし

ていきたいと思っています。

(本件は撤回されました)

## 請願

○西住児童館存続に関する請願

請願者

西住児童館存続の会

代表 高山布美子ほか

7人

紹介議員 佐藤輝雄

要旨

財政再建プラン「幼児保育型児童館の廃止と幼稚園化」を見直し、西住児童館を存続すること。

\*文教厚生常任委員会に付託されました。



存続の請願があった西住児童館

## 冬期生活助成金などの補正予算を可決

会計区分	補正額	補正後の額	説明	
一般会計	2,983万円	99億5,080万円	船岡西排水対策、冬季生活助成金(5,000円/世帯)(※)、教育費・土木費など	
特別会計	国民健康保険	169万円	36億5,855万円	診療報酬審査手数料、子宮がん検査料負担金など
	老人保健	373万円	3億3,198万円	医療給付費、医療支給費など
	公共下水道事業	△15万円	18億1,991万円	下水道管路調査委託料など
	介護保険	—	17億8,233万円	予算の組み替え
	後期高齢者医療	335万円	2億6,404万円	後期高齢者医療保険料納付金など
水道事業会計	収益的収入	—	—	
	収益的支出	67万円	13億3,676万円	営業費用など

(※)昨年に引き続き、灯油代として冬季生活助成金が低所得者世帯に支給されます。

# 一般質問

ズバリ



あなたにかわって

## ここが聞きたい

Q & A



一般質問は12月8日から10日までの3日間で行われ、9人の議員が質問しました。質問と答弁の内容について、その一部を掲載します。答弁者は、滝口町長、阿部教育長及び各担当課長等です。



太田研光 議員

**Q** 景気的大幅な後退、21年度の町民税収入の予測は

**A** 個人町民税はほぼ横ばい。法人町民税の増収は見込めない



不況を伝える新聞記事

**問** 政府は、20年11月国内総生産の速報値を発表した。これによると、7月から9月期の実質GDPの成長率は0.1割のマイナスで、年率にすると0.4割のマイナスとなっている。実質GDPが連続して減少するのは、平成13年以来、7年ぶりといわれている。

経済の下降が予想される中で、21年度の町の税収が心配だ。まず、個人町民税は、不景気を反映して個人の所得は伸びず、減少が見込まれる。また、産業界の景気の下降から、法人町民税も減少すると思われる。

21年度の個人町民税、法人町民税の収入予測を聞きたい。

**答** 20年度は、経済の減速や原材料の高騰によって経済は下降し、21年度以降の町の税収に影響を及ぼすと考えている。

21年度の町民税の予測は、大変難しい面があるが、本町は給与所得者が多いことから、個人町民税の減少につながる。また、人町民税についても、経済状況の動向を考えれば、以前のような増収は見込めない。

税務の担当者からみると、21年度の個人町民税は落ち込みが少なくと予測する。むしろ、22年度の税収が落ち込むと考える。法人町民税については、21年度は20年度税収見込額の97割の2億5千万円を予測している。



白内恵美子 議員

**Q** 暫定図書館開館へのスケジュールは

**A** 平成22年度の開館を目指す



図書館設置が予定されているふるさと文化伝承館(船岡城址公園下)

**問** 子どもたちが自分の考えをしっかりと持ち、心豊かで楽しい人生を歩むよう環境を整えるのが私たちの使命。「財政難だから図書館サービスはできない」とは、決して言うてはならないことだ。町の調査で図書館を望む住民はどのくらいいるのか。

**答** 12年度の調査では、希望する社会教育施設として図書館をあげた方が男女とも1位。17年度の子ども読書活動推進調査でも図書館設置の希望が

多く、たくさんの方が図書館を希望していることがわかる。

**問** 図書館設置検討会から「既存の生涯学習施設を利用した図書館設置報告書」を受け、どのように推進するのか。

**答** 報告書の内容を尊重し、「公立図書館としてだれでもいつでも無料で利用できる施設を」と考えている。設置場所として、ふるさと文化伝承館のエントランスホールと、IT創作プラザの一部を活

用する考えである。21年度は準備期間とし、22年度の開館を目指す。

**問** 準備段階から司書がいないと後で大変なことになる。21年度に司書を採用しなければ開館できないのではないか。町長、教育長は全力をあげて予算化に取り組んでいただきたい。

**答** 開館準備と開館後の運営のため、司書は絶対に必要と考え配置を要望。



我妻弘国 議員

**Q** 年末の商工業者への資金繰り対応は

**A** スムーズに融資ができるよう職員一丸となって対応する



各種融資制度の窓口となる商工会

**問** 年末に向け、商工業者の資金繰りに対応できる体制になっているか。

**答** 関係機関と連携を密に対応する。特にセーフティーネット貸付事業はスピーディーに決済を受け、緊急的に承認書をだす。

**問** 職員給料5割カットをもとに戻すという話があるが、管理職手当や役職加算はどうなるのか。

**答** 地方財政計画の動向や税収の伸びを勘案し、最終的には1月に判断をする。

**問** もとに戻した場合、人件費はどの程度増額になるのか。

**答** 管理職手当を戻すと1千100万円、役職加算を戻すと3千500万円。全部で1億円程度になる。

**問** 経済環境の情勢から、21年度の予算編成は苦心したのではないか。

**答** 現在、各課からの要求段階だが、基金の取り崩しを3億5千万円程度にしなければならぬ。

**問** 中・長期的財政に心

配はないのか。

**答** 25年度までは厳しい財政が続く。景気後退による町税収入の落ち込みや、地方交付税を初め国・県の補助金や負担金の減少、県南中核病院の負担金の増加など財政を圧迫する不安材料が多い。

**問** 船岡中学校の体育館建設を生徒たちと約束したようだが。

**答** 中・長期財政計画の中で、体育館は22年度に建設を盛り込んでいる。



水戸義裕 議員

**Q** 町の地産地消の現状と今後の方向は

**A** 地産地消を推進し、安全な食の提供を図る



直売所ふ・う・ど (JA みやぎ仙南本所内)

**問** 20年1月に発生した食品の農薬混入問題が大きく報道され、食品の安全性に対する消費者の関心が高くなった。また、いかに我が国が海外に食を頼っているかを改めて知らされた。農家の生産力を生かす方策として全国的に地産地消が盛んだが、本町における食や地産地消の取り組みと今後の方向をどう考えているか。

**答** 地産地消の現状は、今、直売所は10カ所、延べ302人の生産者がいる。

**問** 直売所や生産者と消費者の交流会、フードコーディネーターの活用についてどう思うか。

**答** 交流会はないが、県が地産地消の日を定めているので、農産物直売所の方々にも地産地消の日の活動協力を呼びかけている。さらに専門家などの情報も入手したいと思う。今後は、事業計画に結び付けられる仕組みを考え、地産地消運動をさらに広げ、柴田ブランドを確立したい。

**問** 地域農業の再生や安心・安全な農産物の提供に、どう取り組むのか。

**答** 農地や担い手の確保・育成し、技術水準の向上を図り食料供給力の確保に努める。学校給食や食品産業でのさらなる利用拡大や、小売店等との連携による販売活動の促進などにより、安心・安全な農産物を提供できるように努める。

**問** 町内ではバスなどの公共の移動手段がない。高齢者、障がい者、子どもたちや家用車を持たない人、運転できない人など、公共交通機関がないことにより移動が制約されている人が多い。こうした方々が買物や通学、病院通いなどにいつでも気軽に、少ない費用で出かけられるような環境づくりが必要。町民バスなどの公共交通サービスを、本町でもぜひ実施してほしいとの要望が強い。

**問** 角田市では、デマンド型の乗合いタクシーを運行し、市民から喜ばれている。登録者が事前に予約することによって、ルート内であれば、戸口から戸口へ送迎してもらえるシステムで、新しい公共交通サービスとして各地で評価されている。

**答** 交通弱者の実態やニーズを把握しているか。

**問** 実態調査はしていないが、交通弱者は750程度と推定している。

**答** 検討したことがあるか。

**問** 17年に県内の実態把握をしたが、本町での取り組みには至らなかった。

**答** 今後、町でも角田市のようなサービスを実施する考えはないか。

**問** 少子高齢化、核家族化などで公共交通の必要性は増大する。本町らしいデマンド型交通システムの導入に向けて、調査研究に取り組む。

**Q** デマンド型の町民バス導入を

**A** 導入に向けて調査、研究に取り組む



大坂三男 議員



デマンド型の乗合いタクシー(角田市)



広沢 真 議員

**Q** 町内の雇用情勢をつかみ、救済策を

**A** 現在町内企業で解雇などの情報はない



求職者が後をたたないハローワーク

**問** 全国で派遣労働者の大量解雇が起こっている。町内企業では解雇されている実態はないか。

**答** 関係機関からの情報では、現在までのところ、町内企業では派遣労働者の雇い止めの情報は入っていない。

**問** 町内企業を訪問して派遣労働者の雇い止めをしないで不況を乗り切るように町として申し入れができるか。

**答** 現時点で行う考えはない。

**問** 今後町内でも多数の生活困難者が出ることも予想される。しかし、生活保護や県社会福祉協議会の生活福祉資金貸付制度ではカバーしきれない現実がある。町として、生活つなぎ資金貸付制度などを創設する考えはないか。

**答** 他の自治体の実施状況などを把握しながら、制度運用の内容や問題点も検証し、直接に取り組める課題かどうか検討していく。

**問** 現在のセーフティネットの隙間を埋めることは、町としての課題にならないか。

**答** 現在、セーフティネットとして県の生活保護と社会福祉協議会の貸付制度を行っている。町で制度をつくるには町民の理解が得られるかどうかも考慮しなければならぬが、現時点で理解を得られないであろうと考えている。



小丸 淳 議員

**Q** このままでいいのか 高齢者対策

**A** 現施策の継続と充実を図る



町内事業者でつくるデイサービス部会の会議

本町の高齢化率は、毎年約1割ずつ増加している。病気になるれば、医療介護費が伸び財政に影響が出ることから、健康寿命を延ばす総合的な施策を講ずる必要がある。

**問** どのような高齢者対策を考えているか。

**答** 「健康づくりと疾病予防」「生きがいづくりと社会参加」「介護と介護予防」を施策の柱にしている。

**問** ニーズにかなった施策のために、高齢者の志向の把握が必要では。

**答** 現在、介護、介護予防のための健康づくりの運動を重点的に、人材と財源を投入している。19年度から始めた「地域デビュー事業」に36人が参加していることもあり、これから増える団塊世代を考えると、来年か再来年にアンケート調査をしてみたい。

**問** 健康診査の受診率は、20年度から、65歳以上の方に特定健診、生活機能評価の調査を実施し、受診率は対象者の46・5割である。

**問** 未受診者への対応は、医療機関に通院している、町の健診を受けなくてもいい人が半分程度だと思うが、地域包括支援センターや民生委員への相談を通じて把握に努めている。

**問** 運動教室以外の健康づくり運動メニューは、女性が多いが、40人近い人が取り組んでいるダンベル体操や一人でもやれるノルディックウォーキングを広めていきたい。



森 淑子 議員

**Q** 水洗化資金の融資条件の緩和を

**A** 緩和の方向で検討する



水洗化融資資金受付窓口(上下水道課)

**問** 水洗化資金では、1戸当たり50万円以内を無利子で融資する制度があるが、融資条件が厳しいため利用する人が少ない。融資条件を緩和し、水洗化率を上げて歳入増を図る必要があると思う。

**答** この制度の利用者は年間何人いるか。

**答** 最近5年間の平均では約10人。本年度は6人となっている。

**問** 融資金額を100万円に増やせば利用者は増えるのではないか。

**答** 名取市、丸森町の融資金額は80万円。下水道に接続して改築もすると、200万円くらいかかると思う。金融機関と協議を行い、増額の方向で検討する。

**問** 連帯保証人は「町内に居住する」とあるが、県内あるいはどこに居住していても良いということにしてはどうか。

また、申請者と連帯保証人が一緒に実印を持参して金融機関に行くことを見直してはどうか。

**答** 他の市町も「市内あるいは町内居住者」となっている。金融機関と協議して提案に沿うように検討する。

**問** 下水道が通ってから3年以上経過すると融資が受けられなくなるが、条件を緩和できないか。

**答** 現在は3年だが、制限しなくても良いと思う。町民が水洗化しやすいように、規則の見直しをしなければならぬと考え



佐藤輝雄 議員

**Q** 3町合併で柴田町の学校の統廃合はあるのか

**A** 統廃合の法的な基準はない



答弁にあたる阿部教育長

**問** ある議員の会報に、合併で学校の統廃合が心配との風評が出た。例えば、村田町の小学校統廃合、角田市の西根中学校の廃校、丸森町の中学校の統廃合も合併に関係がない。統廃合の基準はあるのか。

**答** 法的な基準はない。あくまで住民との話し合いの中で決定すべきと受け止めている。

**問** 町づくり町民懇談会資料のメリット・デメリットは具体的に。その

際、3町の規模に合わせたい話が必要。町長は合併反対派と賛成派の公開討論が必要と言っているが、感情的になっているときは、協議会の中で議論をすべきである。

**答** 「住民の利便性の向上が図られます」は、旧町村の垣根を越えた公共施設の利用やサービスの提供が可能となり、暮らしが便利になることである。具体例として、高齢者福祉事業が全地域で利用可能となり、住民バス

の運行で公共施設利用の利便性が向上する。しかし、境界がなくなると、乳幼児健診が一方所となり、役場が遠くになって不便になることも現実起こっている。

「サービスの高度化・多様化が図られます」は、従来は設置困難であった専任職員・組織を置き、より専門的で多様な行政サービスが可能になることである。



## 掲載した質問のほかに、次の項目がありました。

### 太田研光 議員

- 問** 役場庁舎は災害時に指揮をとる中心であり、耐震診断を優先して実施すべきではないか。
- 答** 役場庁舎は昭和48年に建設され、耐震確認が必要。予算上の制約で、21年度に実施予定。
- 問** 現在、西住児童館入所児童の保護者等は存続を熱望しているが、当分の存続はできないか。
- 答** 幼児教育の民間委託、民営化、学校併設化は議会との合意である。保護者等と話し合いをしていく。

### 白内恵美子 議員

- 問** 高次脳機能障害者や難病患者は、周囲から理解されず苦しんでいる。理解と支援が必要。
- 答** 窓口は県の保健福祉事務所。県の情報を得てもっときめ細かな支援をしていく。
- 問** 「広報しばた10月号」の合併の記事はわかりにくかった。わかりやすい情報提供が必要。
- 答** 一般論を掘り下げ、柴田町にとってのメリット・デメリットを町民に明らかにしていく。

### 我妻弘国 議員

- 問** むつみ学園の児童の療育環境が悪い。整備が必要だ。つなぎに空き施設の活用を考えては。
- 答** 1市4町の枠内の運営であり、建設は難しい。空き施設活用の新しい運営形態を検討する。

### 大坂三男 議員

- 問** 小中学校の建物の老朽化で、雨漏り箇所が増えてきている。今後どう対処していくのか。
- 答** 船迫小学校体育館の出入口など部分修繕は随時行う。大規模なものは計画的に整備する。

### 水戸義裕 議員

- 問** 合併協議会だよりでは審議の過程がわからない。町独自に審議過程と内容を紙面で提供を。
- 答** 町独自で発行するのは困難。「広報しばた」で特集を組み、審議過程と内容の提供に努める。
- 問** 猛威を振るうとされる新型インフルエンザ対策への取り組みはどうなっているのか。
- 答** 健康を守る立場から、県の行動計画に基づき知識の普及や情報提供に努め、発生に備える。

### 広沢 真 議員

- 問** 08年度全国学力テストの結果を公開する考えはあるか。
- 答** 現在公表する考えはない。今後の動向を見極めたい。

### 森 淑子 議員

- 問** 私立幼稚園就園奨励費補助金を増額して、公立との費用の差を縮めることはできないか。
- 答** 21年度も20年度に引き続き国の補助単価額が引き上げられるので、これ以上は難しい。

### 佐藤輝雄 議員

- 問** 町長給料カットは、他町並みに期末手当も対象にすべきでは。退職金についてはどうか。
- 答** 選挙公約の給料カットに基づいて実施しているので、これが町の制度であると考えていただきたい。退職金は全国的に見て著しい不均衡が生まれていないため是正すべき水準はないとの退職手当組合の見解。第三者が入った研究会の設置を主張している。

## 20年の議会開催状況

### 本会議

定例会	3月・6月・9月・12月	計 26日
臨時会	3回	計 3日



### 常任委員会

	事務調査等
総務常任委員会	8日
文教厚生常任委員会	8日
産業建設常任委員会	7日

### その他委員会

	審議等
議会運営委員会	12日
予算審査特別委員会	4日
決算審査特別委員会	4日
議会広報特別委員会	23日
議員定数報酬等調査特別委員会	3日

# 取り組み中の議会改革

平成19年度から進めてきた議会改革。取り組み34項目中、前進したのもあればまだ検討中のものもあります。主な取り組みを紹介します。

## 開かれた議会をつくる

議会懇談会の実施（詳細は下段の記事参照）、町のホームページに掲載する情報（議会日程、一般質問通告一覧など）の充実、高齢者・障がい者も傍聴できるように傍聴席を改修、議員全員協議会の一部公開などを実施しました。

## 議会活動の活性化

一般質問を一問一答方式にしました。さらに、質問席を対面式にして執行部と議員がより緊張感をもってやり取りできるようにになりました。

また、これまで毎年行ってきた行政視察研修を隔年ごとにし、行政視察を行なわない年は、外部から様々な分野の講師を町に招いて町民のみならずも参加できる勉強会を開催することになりました。

20年度は、地域医療間

題をテーマに11月15日実施しました。講師は日野秀逸東北大学大学院経済学研究科教授でした。

## 今後の取り組みべき検討課題

町民からの要望もある夜間・休日議会や模擬議会は今後の検討課題です。また最近、多くの自治体で導入されている本会議のインターネット中継や会議録検索システムについては検討しましたが予算がかさむため当面の導入は断念しました。さらなる改革はこれからも取り組みます。



11月15日開催の議員研修会

平成20年

# 議会懇談会を開催

19年度に引き続き、議会報告会を改め議会懇談会として、7月6日と13日の2日間にわたり町内6カ所で開催しました。

今回は、新たな試みとしてテーマに「ごみ問題」を設けて意見交換を行うとともに、町政や議会へのご意見・要望をご提案いただきました。

参加者数は、86人でし参加された方からはご

み問題の地域での様々な取り組みの様子や成果、昨年に引き続き町政への意見・要望など活発な意見交換が行われました。

懇談会でいただいた質問・意見・要望をまとめて町長及び議長に申し入れと回答を求めました。

### 主な申し入れ事項

①各地域団体の資源回収活動の促進を進めてほしい

②食用廃油の燃料化事業に取り組んでほしい

### 議長へ

①懇談会は予算・決算議会後の年2回行ってほしい

②議会懇談会開催地区には、地元議員の参加を配慮してほしい

詳細の項目に対する回答は21年の議会懇談会に報告します。

項目	質問・意見・要望の件数
ごみの減量について	8件
ごみの資源化について	11件
マイバッグ持参運動	2件
ごみ処理施設	4件
その他	21件
計	46件

項目	質問・意見・要望の件数
町政に対する質問・意見・要望	32件
議会に対する質問・意見・要望	23件



議会活動を報告する担当議員

# 常任委員会レポート

各常任委員会は  
年4回各課の仕事  
を調査しています。

## 総務

■ 日時 平成20年10月22日  
■ 調査内容

- ・ 柴田町地域防災計画策定の現状
- ・ 財政再建プランの実施状況
- ・ しばた男女共同参画プランの進捗状況

### 柴田町地域防災計画概要版の配布を早急に

#### 《総務課》

災害時、住民の迅速な避難を確保するためにも、柴田町地域防災計画の概要版を早期に配布すること。

#### 《企画財政課》

- (1) 18～22年度まで、財政再建プラン47項目に鋭意取り組んでおり、実績も上がっているが、プランどおりに進んでいないものや、変更を余儀なくされているものがあるため、現状を慎重に検討すること。
- (2) みやぎ県南中核病院や仙南地域広域行政事務組合における新規事業や機器の更新などにより、町負担金の大幅増が予想されている。事業計画の概要を早期に把握し、財政シミュレーションの見直しを図り、早急に情報提供をすること。

## 文教厚生

■ 日時 平成20年10月28日・29日  
■ 調査内容

- ・ 心身障害児通園施設「むつみ学園」の現状
- ・ 母子生活支援施設「山下荘」の現状
- ・ 生涯学習センター・公民館及び農村環境改善センターの現状

### むつみ学園整備に関する将来構想を早急に

#### 《子ども家庭課》

むつみ学園は昭和18年に建てられた非常に古い木造の建物を利用しており、建物全体に傾きや床の腐食、雨漏りが認められ、当委員会でもこれまでたびたび施設整備に関し指摘した経緯がある。

先の大雨時には水害も発生しており、また、地震による倒壊や火災などの心配もあることから、改築が急がれるが、財政上困難な状況であれば、町の他施設の活用を検討し、早急に対処すること。

#### 《生涯学習課》

農村環境改善センターでは、多目的ホールの上階上部の天井やホール脇の倉庫の天井から雨漏りが認められることから、早急に修繕すること。

## 産業建設

■ 日時 平成20年10月20日・24日  
■ 調査内容

- ・ 冠水被害箇所の現状
- ・ 公共下水道事業の工事執行状況
- ・ 岩沼市押分排水機場視察研修

### より安価で安全な下水道工事を

#### 《都市建設課》

町内には解決されていない道路冠水箇所が多くある。特に住宅街や通学路を優先して、順次改善していくこと。

#### 《上下水道課》

上下水道の工事は日々発展しており、工事を行う地質などによって工法や単価が大きく変わってくる。最適な工法を選択し、より安価に安全な工事の執行に努めること。



# あなたの一言



はた い かおる  
畑井 馨 さん  
(槻木西在住)

## ●柴田町に住んで感じたことは

昨年、東京の国分寺市から妻の実家に転居してきました。以前住んでいた所は、年々宅地開発が進み自然が失われつつあったので、豊かで温暖な町の自然環境にうれしさを感じています。

て歩道部分が狭いので、水路にふたをして歩道にできないでしようか。  
公民館をもっと様々な団体・個人が利用できるように、冷暖房費を利用者負担ではなくしてほしい。また、印刷機を利用できるようにしてほしい。

## ●柴田町の好きなところ

四方を見渡すと、山が身近にあることです。蔵王連峰が見渡せるところがとてもいいです。

## ●議会・議員に望むこと

以前住んでいた所では、議会を定期的に傍聴しているグループがありました。住民が気軽に議会に足を運んで意見交換ができるようになったらいいですね。

## ●町に望むことは

槻木西は、道路脇に水路があっ

未来へ向けて

## ◆編集後記にかえて（編集風景）◆

「ありのままに」「わかりやすく」をモットーに編集に努めました。

8人の編集委員は本号をもって任期を終えます。

町民の皆様のご愛読に感謝申し上げますとともに、今後も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。(小丸 淳 委員長)



どんな紙面にしようかと編集委員との話し合い。  
(太田研光 副委員長)



一生懸命考えたので読んで！  
(有賀光子 委員)



こんなレイアウトでどうかな。

タイトルも変えなきゃ！  
(百々喜明 委員  
森 淑子 委員  
大坂三男 委員)



パソコン画面がないと文章が浮かばないです。この表はここに…、この文は…、えーっと…。

(広沢 真 委員)

この記事は、こう書くといいか。みなさん読んでくださいね。  
(水戸義裕 委員)



お待ちしております！  
ぜひ、  
議会の傍聴を!!

第1回定例会は2月13日(金) 午前10時開催予定  
一般質問は2月17日(火)・18日(水)・19日(木)の予定  
議会事務局 ☎0224-55-2136

※2月16日(月)は  
休会となり、再開  
は2月17日(火)